

平成27年度栃木県老連大学校 第14期生27名が卒業

平成27年度「栃木県老連大学校」は、7月22日の入学式から毎月1日から4日のペースで、延べ15日間、58時間の講座を終え、12月16日無事卒業式を迎えることができました。

「老人クラブの歴史と現状、今後の展開」でスタートしたこの大学校も「県老連の現状と皆さんへの期待」「老人クラブ会計の基礎について」など、老人クラブ運営に必要な基礎的な講座から、「見て触れて覚えようパソコン」や「手作りの物を作ろう（折り紙）」で思いがけず自身の能力を発見したり、「県南方面の史跡と文化を訪ねる」野外学習で、安藤勇寿「少年の日」美術館での色鉛筆の絵にどこか懐かしさに魅せられ、安藤先生が登場されたのには、参加者全員感動で、記念写真に収まりました。

仲間同士大いに交流を深めたりと、多彩な講座内容に毎日が充実した中身の濃い6か月でありました。

「この老連大学校で学んだことをそれぞれの地域に持ち帰り、老人クラブの仲間とともに活動をとおして心豊かな地域づくりに活かすことがこれからの役割である」という、卒業生代表、田辺節子さんの答辞の言葉にあるように、皆さんのこれからの活躍が大いに期待されるところです。



卒業証書授与 田中宏久さん（宇都宮市）



答辞 田辺節子さん（市貝町）



第14期生の皆さん



卒業記念パーティ